

利用学習計画書

平成24年 4月 日
担 当 第6学年 孫入 みな

- 1 ねらい
縄文のむらのくらしの様子について理解する。
- 2 評価
縄文のむらの人々の住居や服装及び、狩猟や採集などを中心としたくらしの様子について理解することができたか。
- 3 学習活動について
社会科「縄文のむらから古墳のくにへ」
- 4 事前指導
・社会科「縄文のむらから古墳のくにへ」の学習から縄文のむらのくらしに対する関心を高めさせる。
・探検ノートを活用し、縄文の森の施設について理解させる。
- 5 当日の指導（活動）内容
（1）見学学習
全体で館職員の説明を聞き、探検ノートを用いながら、復元住居・遺構表示等の野外展示及び館内の展示見学を行うとともに、各自課題解決学習を行う。

（2）体験学習
勾玉づくり
- 6 当日の交通手段 市営バス
- 7 事後指導
ワークシート及び壁新聞による学習のまとめをさせ、縄文時代の生活についての理解を深めさせる。

利用学習報告書

平成24年 5月2日

担当 第6学年 孫入 みな

1 事後指導について

(1) 実施日

平成24年4月18日(水) 5校時

(2) 主な内容

社会科の授業で校外学習を通して分かったことや感想を記入し、発表し合う。

2 送付する資料

児童生徒の学習後の感想(一部抜粋) 6名分

○ 児童の感想文

A子

人々のくらしや食べ物など、縄文時代のいろいろなことを知ることができ、とてもよかったです。1番驚いたのは、アクセサリーです。約4000年前なのに、ネックレスやブレスレット、ピアスなど、おしゃれに気をつけていたなんてすごかったです。

B男

一番楽しかったのは、体験学習の勾玉作りです。今まで作ったことがありましたが、いざとなるとやはり難しかったです。でも、ボランティアの方々のアドバイスを受けることで、うまくできました。

C子

縄文時代の家である「たて穴住居」は、暗くてせまいので、今のくらしと比べるととても不便なのではと思いました。昔の人は狩りも家作りも道具作りもすべて自分でやっているのだから、感心しました。勾玉作りは大変だったけれど、できあがったときはすごくうれしかったです。

D子

縄文の森広場での学習は、とても勉強になりました。

特に印象に残ったのは、外にあった「たて穴住居」です。中は意外に広く、こげ臭いにおいがしました。床は土や砂でできており、天井は思っていたよりも高かったです。木は、何組も組んであって、頑丈にできていました。外見は三角で山みたいな形でした。このような家を作った縄文人に感心しました。

いろいろなことを調べることができましたが、もっと調べたいこともあるので、また縄文の森広場に行きたいです。

E子

縄文の森広場には、いろいろな跡がありました。一番驚いたのが、「落とし穴」です。1万年前から落とし穴が作られていたのは驚きました。そして、家のつくりにも驚きました。入り口と床の段差が大きく、中が広がりました。昔の人の知識は高く、そのおかげで今の私たちの知識があると思います。

F男

約4000年前の電気も機械もない中でこのような家を作ってていたことに感心しました。木などの身の回りにあるものだけで家を建てたり、物を作ったりして生活していた縄文人がすごいです。二酸化炭素を減らすために、今後この縄文人の知恵を生かしていきたいです。